

金融経済ナビ まなぼう！金融経済 債券の講座 国債とは 自己診断シート/確認テスト〈解説・指導編〉

【自己診断シート】

国債に関しては教科書で取り上げられており、ある程度の知識が期待できるため、自己診断シートでその知識を確認します。また、国債には建設国債と赤字国債があることを設問で確認します。

Aの解説：

「国がする借金」「国債を発行して必要な資金を調達する」などの答えが期待できます。

Bの解説：

税収では足りない分を補うのが目的であることを確認します。

Cの解説：

税収の落ち込みと、支出の増加で、国債の残高が増え続けている現状を再認識させます。

設問2の解答と解説：「道路や橋～」と「税収では国の～」の2つのみ〇
国債を発行する理由として、生徒に選択肢の内容を自分なりに思考させます。

【確認テスト】

[解答] 1 : C 2 : A 3 : C

[解説]

1 : 道路や橋などの社会資本を造る費用が足りないときに発行する国債を建設国債といいます。本来は税金が財源であり、建設国債はそれでは足りない場合に発行します。選択肢にある「長期国債」は、償還期間（満期）が5～10年の国債です。

2 : 建設国債は、道路や橋など後の世代に利用できるものに使われるのに対して、赤字国債は経常的支出の不足分を埋めるために発行するため、単に国の借金が増えるだけで利子の支払いや元金返済が国の財政を圧迫すると考えられています。

3 : 膨らみ続ける日本の借金は、21年度に600兆円、22年度には630兆円を突破すると見込まれています。Bは20年度の実績、Aは日本の22年度の国家予算（一般会計総額）です。国家予算の7倍近い借金があることとなります。